

2024年度入試 桃山学院中学校 第1回プレテスト(11月11日実施) 成績参考資料

【プレテスト全体結果】

平均得点

教科	得点
国語	91.5
算数	72.9
国算計	164.5

受験者数	291
欠席者数	48

【6年選抜コース】

合格可能性	得点ライン	人数	平均点			国算計偏差値 平均
			国語	算数	国算計	
A(合格安全圏)	216	44	112.9	120.7	233.6	64.7
B(合格可能圏)	180	69	106.3	89.9	196.2	56.8
C(有望圏)	155	59	94.9	73.2	168.1	50.8

【6年進学コース】

合格可能性	得点ライン	人数	平均点			国算計偏差値 平均
			国語	算数	国算計	
A(合格安全圏)	180	113	108.9	101.9	210.8	59.9
B(合格可能圏)	155	59	94.9	73.2	168.1	50.8
C(有望圏)	135	42	88.9	55.5	144.4	45.7

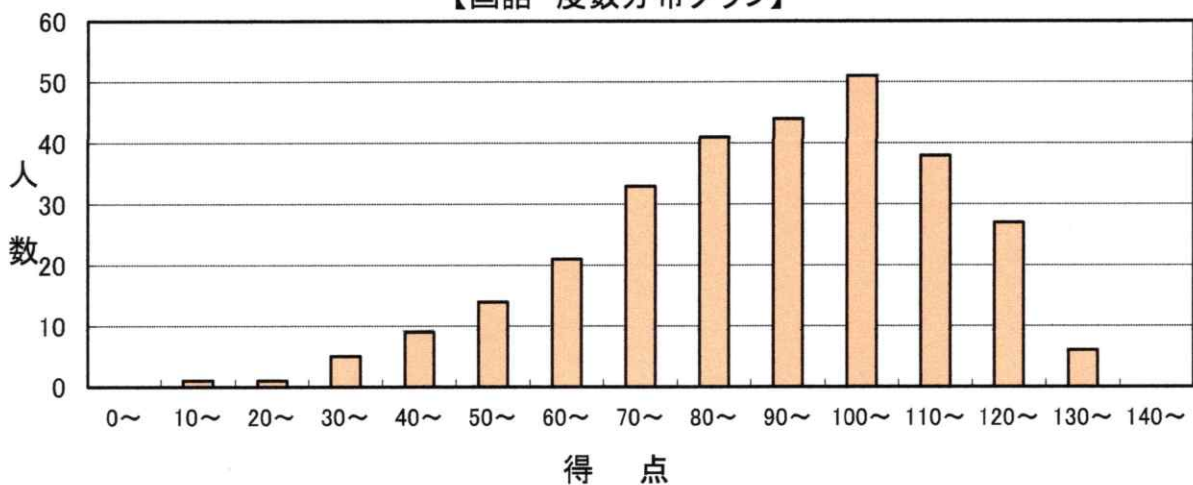
※表中の数値は、A・B・Cそれぞれの幅に入っている受験生の人数・平均点等を示しています。

2024年度入試 桃山学院中学校 第1回プレテスト(11月11日実施) 合格判定基準詳細

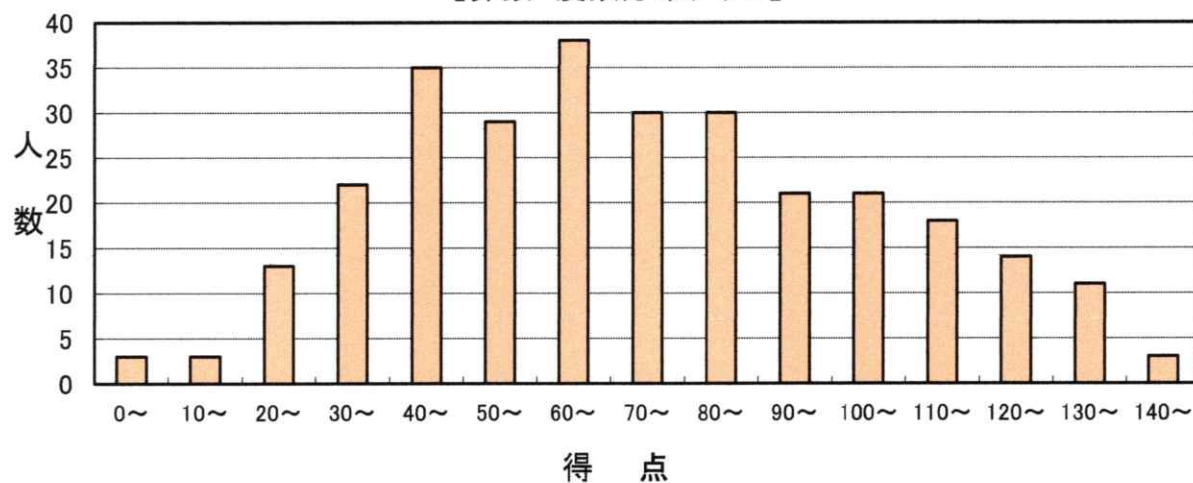
判定	内 容	2科目プレテストの基準点	
		選抜コース	進学コース
A判定 (合格安全圏) 合格率 90～98%	現在の国語・算数の実力から見れば、ほぼ安全圏です。 ただし、A方式入試には理科・社会もあります。理科・社会の得点も合格には大きな影響を及ぼします。国語・算数に関しては、今の調子を維持し、体調管理にも気を配り、万全の態勢で入試に臨んでください。油断は禁物です。A～C方式までチャレンジすれば合格は確実なものとなります。	216/300	180/300
B判定 (合格可能圏) 合格率 80～95%	現在の国語・算数の実力から見れば、「合格」の可能性は大いにあります。この実力を入試本番までにさらに高めるように、より一層の努力を期待しています。 ただし、A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が得意か不得意かにより合否は大きく影響されます。理科もしくは社会が得意な生徒は、限りなく合格に近づけます。 入学試験には、「自信」をもって臨んでください。また、A～C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性は更に高まります。	180/300	155/300
C判定 (有望圏) 合格率 50～80%	現在の国語・算数の実力から見れば、合格圏内に入るには今後の努力が必要です。国語・算数に関しては、これまでの学習を振り返って、自分の弱点を見つけ、その補強に努めて下さい。全体の得点率の高い基本問題は確実に解けるように頑張りましょう。これからの頑張り次第では、十分「合格」をねらえます。 A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が得意か不得意かにより合否は大きく影響されます。理科もしくは社会が得意な生徒は、限りなく合格に近づけます。また、A～C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性は更に高まります。	155/300	135/300
D判定 (努力圏) 合格率 10～40%	現在の国語・算数の実力から見れば、「合格」するためには、かなりの努力が必要です。国語・算数に関しては、これまでの学習を振り返って、自分の弱点を見つけ、その補強に努めて下さい。全体の得点率の高い基本問題は確実に解けるように頑張りましょう。 A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が非常に得意な生徒は、合格する可能性もあります。また、A～C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性はかなり高まります。		

2024年度入試 桃山学院中学校 第1回プレテスト(11月11日実施) 教科別総括

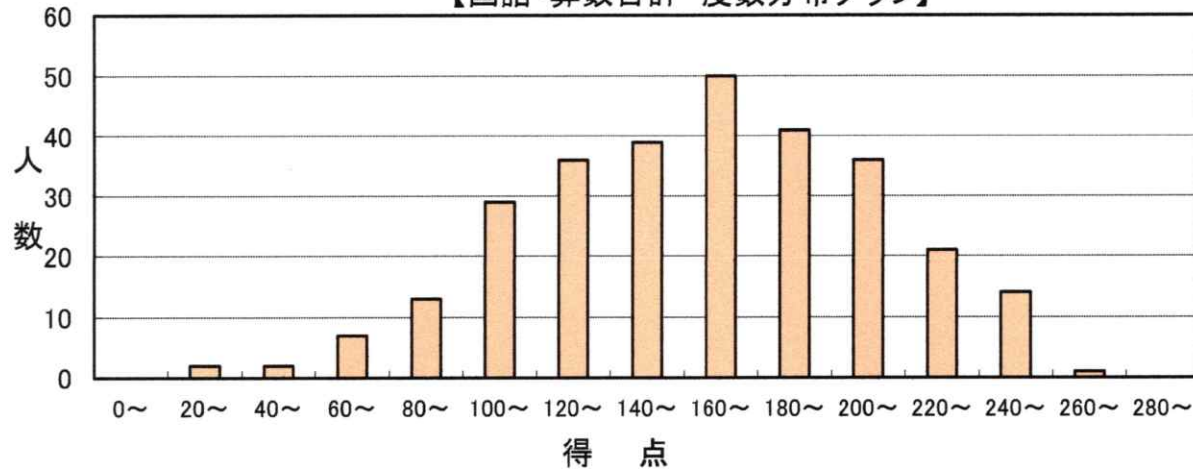
【国語 度数分布グラフ】



【算数 度数分布グラフ】



【国語・算数合計 度数分布グラフ】



【国語】

◆大問一

現代における人間の協力関係がいかにも生まれ、それがどのような結果をもたらすかを論じた文章でした。読解に高度なごい力が求められる文章ではあるが、段落構成を意識し、前後とのつながりが理解できれば設問にも対応できるレベルでした。

正答率が高かった問題

問9の①～④：本文の内容理解を問う問題で、本文のどこに該当箇所があるかを素早くつかむことが求められます。該当箇所を見つけるにはキーワードを押さえることが重要になります。

正答率が低かった問題

問4のa・b：言葉の意味を問う問題でした。その言葉が難しく、すぐに回答が出来ない場合は傍線部の前後を読んでことばの意味を類推することが求められます。

◆大問二

あがり症の「唯人」が紙芝居の発表をするが、上手いかず、その場から逃げ出したところを同じクラスの「アズ」にきびしく指摘される。そのことがきっかけで唯人は今まで誰かに助けてもらおうか、見逃してもらおうかしていた自分の弱さに気づき、そんな弱い自分を変えていこうと前向きな気持ちになっていく。

正答率が高かった問題

問1・2：文章の前のリード文をしっかり読んで、唯人の人物像や今置かれている状況を正確に理解できている受験生が多かったです。

正答率が低かった問題

問9：近年増加している会話文形式の設問でした。本文で読み取った内容と設問の会話文を正確に結びつけなくてはならず、出来に差がつく問題になっていました。まず正確に文章の内容を理解し、そして会話文の空欄や傍線部の前後を読み、ポイントを押さえることが重要です。

◆大問三

正答率が高かった問題

問1の④・⑤・⑥：漢字の読み問題はよく出来ていました。漢字は「読み・書き」をセットで覚えるようにしましょう。

正答率が低かった問題

問1の②の書き取り問題：「操縦」が難しかったようです。また問2の④の対義語の組み合わせを作る問題。「形式⇔内容」になじみがなかったかもしれません。漢字の練習をする時は「記号」のように暗記するのではなく、漢字の意味を理解すると忘れにくくなる上に応用がつけます。

◆大問四

正答率が高かった問題

問4の①：慣用句・ことわざの知識を問う問題でした。少しでも気になったらすぐに辞書を引く習慣をつけましょう。

正答率が低かった問題

問3：ある言葉に直接かかる言葉をすべて選ぶ問題です。ことばとことばの対応関係を一つ一つ丁寧に押さえていくことが重要です。

【算数】

◆大問1 (計算問題)

正答率は(1) > (2) > (3) > (4)の順に低く、正答率の高かった(1)(2)で差がつかまりました。(2)(3)のように分数や小数を含む計算や計算の途中が穴抜きになっている問題は毎年出題しています。間違えた人はよく復習しましょう。

◆大問2 (小問集合)

基礎的な内容を幅広く出題しています。配点が高い大問なので、充分に対策をしましょう。(1)(2)(5)は多くの人ができていましたが、(3)(4)(6)は正答率が低かった問題です。

(3)は大人1人の入園料が子ども2人の入園料より110円安いので、大人2人の入園料が子ども4人の入園料より220円安いことを利用して解く代入算です。(4)は平均点×人数=合計点であることを利用すると、2点・3点の人の合計点を求めることができますので、そこから鶴亀算を利用しましょう。(6)はまず水の体積を求めて、三角形の底面積を求めると高さを求めることができます。

◆大問3 (三角形を長方形まわりに回転させる問題)

(1)(2)はよくできていました。三角形を回転させるたびに点A、B、Cがどこに移動するかを書き込んでいけば求めることができます。(3)は(2)の図を利用して、点Aがどのように動いたかを書き込み、弧の長さを足していきましょう。

◆大問4 (硬貨を用いた場合の数の問題)

丁寧に書き出していけば必ず正解できる問題ですが、正答率は高くありませんでした。(1)はすべての場合の数を書き、合計金額を書いた後に、3で割り切れるかどうかを数えれば正解できます。(2)も(1)同様に丁寧に書き出せば正解できます。

◆大問5 (割合の問題 (仕事算))

割合は苦手とする人の多い分野ですので、こちらも正答率は高くありませんでした。仕事算は分数で解く方法や、水槽の大きさを最小公倍数で求める方法など、色々な解き方がありますが、自分に合った解き方を見つけて特訓しましょう。(3)は(1)(2)に正解していれば、必ず解ける問題ですが、(3)だけ正答率がかなり低いので、よく復習しましょう。

◆大問6 (速さの問題)

最も正答率が低い問題でした。(1)は太郎さんが3分間スタートしなかったことがヒントになっています。そこから花子さんの速さを出し、花子さんの出発から3分後～5分後の2分間で距離が90m縮まっていることから旅人算を用いて太郎さんの速さを出す難しい問題です。グラフを使った速さの問題に触れ、特訓しましょう。